禁転載複製
当日配付
試験終了後公開

B69

「中央職業能力開発協会編」

令和5年度 技能検定
2級 工業包装 学科試験問題
(工業包装作業)

1. 試験時間　1時間40分
2. 問題数　50題(A群25題、B群25題)
3. 注意事項
   (1) 係員の指示があるまで、この表紙はあけないでください。
   (2) 答案用紙(真偽法と多肢択一法の併用)に検定職種名、作業名、級別、受検番号、氏名を必ず記入してください。
   (3) 係員の指示に従って、問題数を確かめてください。それらに異常がある場合は、黙って手を挙げてください。問題はA群(真偽法)とB群(多肢択一法)とに分かれています。
   (4) 試験開始の合図で始めてください。
   (5) 解答の方法(真偽法と多肢択一法の併用)は次のとおりです。
      イ. A群の問題(真偽法)は、一つ一つの問題の内容が正しいか、誤っているかを判断して解答してください。
      ロ. B群の問題(多肢択一法)は、正解と思うものを一つだけ選んで、解答してください。二つ以上に解答した場合は誤答となります。
      ハ. 答案用紙(マークシート用紙)へ解答する際は、答案用紙に記載されている注意事項に従ってください。
      ニ. 答案用紙の解答欄は、A群の問題とB群の問題とでは異なります。所定の解答欄に、試験問題の題数に応じて解答してください。解答欄はA群は50題まで、B群は25題まで解答できるようになっています。
   (6) 電子式卓上計算機その他これと同等の機能を有するものは、使用してはいけません。
   (7) 携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末等は、使用してはいけません。
   (8) 試験中、質問があるときは、黙って手を挙げてください。ただし、試験問題の内容、漢字の読み方等に関する質問にはお答えできません。
   (9) 試験終了時刻前に解答ができあがった場合は、黙って手を挙げて、係員の指示に従ってください。
   (10) 試験中に手洗いに立ちたいときは、黙って手を挙げて、係員の指示に従ってください。
   (11) 試験終了の合図があったら、筆記用具を置き、係員の指示に従ってください。

［A群（真偽法）］

1　日本産業規格(JIS)によれば、内装とは、物品個々の包装で、物品の商品価値を高めるため若しくは物品個々を保護するための適切な材料、容器、それらを物品に施す技術又は施した状態をいう。

2　日本産業規格(JIS)によれば、ポーションパックとは、1人分、1回分などに前もって個分けした包装形態をいう。

3　日本産業規格(JIS)によれば、ストレッチ包装とは、物品を1個又は複数個まとめてフィルムで覆い、これを加熱収縮させて、固定・保持する包装をいう。

4　日本産業規格(JIS)によれば、枠組箱とは、枠組部材を用いて組み立てた箱で、一般に、内容品質量500kg以上の包装に用いるものをいう。

5　日本産業規格(JIS)によれば、ヒートシーラは、熱可塑性のフィルム、シートなどを熱によって接合する機械である。

6　日本産業規格(JIS)の「さび止め包装方法通則」では、防水性は、「水がしみとおりにくい性質。防湿性を常に兼ねている。」と規定されている。

7　日本産業規格(JIS)によれば、さび止め包装の作業は、できるだけ低い湿度の環境で行うのが望ましい。

8　特性要因図は、特定の結果(特性)と要因との関係を系統的に表した図である。

9　日本産業規格(JIS)によれば、木端とは、木材の繊維方向に対して直角に切った断面をいう。

10　日本産業規格(JIS)によれば、普通木箱I・A形及びI・B形の外板の最小板幅は、15cmと規定されている。

11　日本産業規格(JIS)によれば、外装用段ボールの段の種類において、30cm当たりの段の数は、A段よりもB段の方が多い。

12　日本産業規格(JIS)によれば、普通木箱の設計に当たっては、通常、内容品により木箱が受ける荷重条件によって、1級から3級に分類する。

13　日本産業規格(JIS)によれば、木箱の天井荷重とは、主として側で支える上部荷重のことをいう。

14　日本産業規格(JIS)によれば、普通木箱の外のり高さは、内のり高さ、内容品と蓋板の隙間、蓋板の厚さ、蓋桟の厚さ、底板の厚さ及び底桟の厚さを足し合わせた寸法である。

［A群（真偽法）］

15　日本産業規格(JIS)によれば、腰下付木箱の滑材の長さは、次式で求められる。
　　内のり長さ＋(つま板の厚さ＋つま桟の厚さ)×2

16　日本産業規格(JIS)によれば、Ⅱ・C形木箱において、側板として合板を接合して用いるときは、合板は、側桟の中心線上で接合するか、側桟の中心線上で接合できない場合には、補強材を用いて接合する。

17　日本産業規格(JIS)によれば、腰下付木箱のはりの中心間隔は、70cm以下と規定されている。

18　日本産業規格(JIS)によれば、腰下付木箱において、負荷床材は、内容品をボルトで固定するものを除いては、ラグスクリューを用いて取り付けてもよい。

19　日本産業規格(JIS)によれば、輸送及び保管中の包装貨物の正しい上向き位置を示す「上方向」の荷扱い図記号は、包装の直立した四側面のうち一側面の上部の角付近に表示すればよい。

20　日本産業規格(JIS)によれば、下図の荷扱い図記号の名称は、「壊れもの、取扱注意」である。



21　パッキングリストには、包装貨物の1箱(又は1梱包)ごとの内容品明細を示す様式と、船積みごとの内容明細を示す様式がある。

22　貿易用語におけるB／Lとは、船荷証券のことである。

23　日本産業規格(JIS)によれば、製図において、対象物の見える部分の形状を表す外形線には、太い実線を使用する。

24　労働安全衛生法関係法令によれば、フォークリフトの運転者が運転位置から離れるときは、フォークを最低降下位置に下げて置けば、エンジンを止めなくてよい。

25　労働安全衛生法関係法令によれば、木材加工用丸のこ盤(製材用丸のこ盤及び自動送り装置を有する丸のこ盤を除く。)には、歯の接触予防装置を設けなければならない。

［B群（多肢択一法）］

1　日本産業規格(JIS)における工業包装の定義として、正しいものはどれか。

イ　物品を中間業者に配送すること、及び／又は保管することを主目的として施す包装をいう。

ロ　物品などについて消費者の手元に渡るために施す包装をいう。

ハ　個装を簡略化した包装をいう。

ニ　作業の容易化及び内容品を一度にまとめるために施す包装をいう。

2　日本産業規格(JIS)によれば、木箱において、滑材下部に取り付ける部材はどれか。

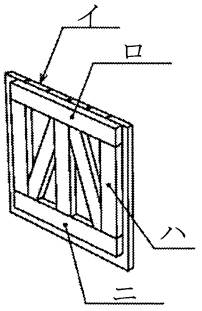
イ　無負荷床材

ロ　負荷床材

ハ　ヘッダ

ニ　すり材

3　日本産業規格(JIS)によれば、密閉板張り枠組箱のつまを表す下図において、つま板はどれか。



4　日本産業規格(JIS)によれば、段ボール箱、プラスチックコンテナ、木箱などに入った内容品、容器、包装材料などを取り出す機械はどれか。

イ　段ボールケーサ

ロ　パレットシュリンク包装機

ハ　アンケーサ

ニ　ステープラ

5　日本産業規格(JIS)によれば、さび止め包装において、さび止め処理材料として乾燥剤が規定されている包装方法はどれか。

イ　防水包装

ロ　一般包装

ハ　除湿包装

ニ　脱酸素包装

［B群（多肢択一法）］

6　日本産業規格(JIS)によれば、木箱のくぎ付け方法として、誤っているものはどれか。

イ　部材を重ねてくぎ付けするときは、くぎの長さの2／3以上を保持材に打ち込むものとする。

ロ　くぎの頭が残ったり、先端が突き出ていたり、又はくぎの頭を打ち込み過ぎてはならない。

ハ　桟から板に打つくぎは、原則として、木箱の内側で先端を3cm以上打ち曲げなければならない。

ニ　くぎは、打ち付ける板の厚さの中央部に打ち付ける。

7　次のうち、品質マネジメントシステムに関するISO規格はどれか。

イ　ISO9000シリーズ

ロ　ISO14000シリーズ

ハ　ISO22000シリーズ

ニ　ISO27000シリーズ

8　文中の(　　)内に当てはまる語句として、正しいものはどれか。

日本産業規格(JIS)によれば、(　　)とは、1枚のライナに、波形に成形された中芯を貼り合わせた段ボールをいう。

イ　両面段ボール

ロ　複々両面段ボール

ハ　片面段ボール

ニ　複両面段ボール

9　文中の(　　)内に当てはまる数値として、正しいものはどれか。

日本産業規格(JIS)によれば、木箱に用いる木材の含水率は、「通常、(　　)%以下とする。ただし、外桟、滑材、すり材及びB形については、24%以下としてもよい。」と規定されている。

イ　12

ロ　15

ハ　18

ニ　20

10　文中の(　　)内に当てはまる語句として、正しいものはどれか。

日本産業規格(JIS)によれば、木材において、(　　)とは、節の繊維と周囲の材の繊維と連続している節をいう。

イ　抜け節

ロ　木節

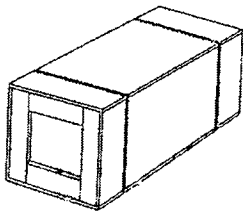
ハ　死節

ニ　生節

［B群（多肢択一法）］

11　日本産業規格(JIS)によれば、下図の普通木箱の形式はどれか。

イ　Ⅰ・A－4形
ロ　Ⅰ・B－5形
ハ　Ⅰ・C－5形
ニ　Ⅰ・B－1形



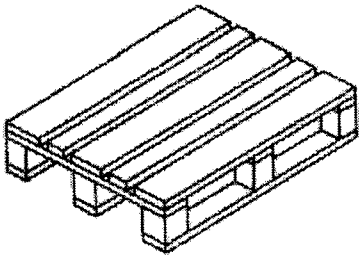
12　文中の(　　)内に当てはまる語句として、正しいものはどれか。

日本産業規格(JIS)によれば、木箱の内のり寸法の表し方において、内のり幅は、(　　)とされている。

イ　両つま板の内面間寸法
ロ　両側板の内面間寸法
ハ　蓋板と底板との内面間寸法
ニ　天井板と無負荷床材との内面間寸法

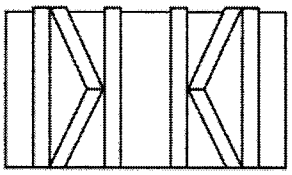
13　日本産業規格(JIS)によれば、下図のパレットの名称はどれか。

イ　片面使用形四方差しパレット
ロ　両面使用形二方差しパレット
ハ　片面使用形けたくり抜きパレット
ニ　単面形二方差しパレット



14　日本産業規格(JIS)によれば、下図の腰下付木箱における側桟及び剣桟の形式はどれか。

イ　2N
ロ　2N＋1
ハ　2K
ニ　2K＋1



15　文中の(　　)内に当てはまる数値として、正しいものはどれか。

日本産業規格(JIS)によれば、普通木箱は、(　　)kg以下の物品の包装に用いる木箱と規定されている。

イ　200
ロ　300
ハ　500
ニ　1000

［B群（多肢択一法）］

16　文中の(　　)内に当てはまる数値として、正しいものはどれか。

日本産業規格(JIS)によれば、木箱の防水方法において、A形の外板の内面には、防水材料を内張りする。防水材料を継ぎ足す場合は、(　　)cm以上重ね合わせる。

イ　1
ロ　2
ハ　4
ニ　6

17　文中の(　　)内に当てはまる数値として、正しいものはどれか。

日本産業規格(JIS)によれば、木箱の部材が交差するときのくぎ付け方法として、板の幅が18cmと15cmの部材が交差する場合、くぎ付け本数は、(　　)本とする。

イ　6
ロ　5
ハ　4
ニ　3

18　日本産業規格(JIS)によれば、Ⅱ・C形木箱において、つまに用いなくてもよいとされている桟はどれか。

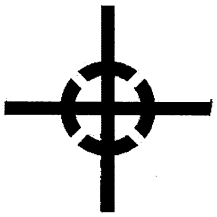
イ　縦桟
ロ　横桟
ハ　中桟
ニ　剣桟

19　日本産業規格(JIS)によれば、木箱のかど金に関する記述として、誤っているものはどれか。

イ　幅は、50mm以上とする。
ロ　幅は、胴桟の幅の1／2以上とする。
ハ　厚さは、0.4mm以上とする。
ニ　折り曲げた一辺の長さは、30mm以上とする。

20　日本産業規格(JIS)によれば、下図の荷扱い図記号が表すものはどれか。

イ　多方向操作のレバー
ロ　クランプ位置
ハ　重心位置
ニ　つり位置



［B群（多肢択一法）］

21　次のうち、パッキングリストの必須記載事項でないものはどれか。

イ　送り状番号
ロ　商品価格
ハ　品名
ニ　船便名

22　幅がドライコンテナよりも大きい貨物の輸送に適しているコンテナはどれか。

イ　オープントップコンテナ
ロ　リーファーコンテナ
ハ　フラットラックコンテナ
ニ　ドライバルクコンテナ

23　日本産業規格(JIS)によれば、製図において、細い破線又は太い破線で表すものはどれか。

イ　寸法線
ロ　中心線
ハ　かくれ線
ニ　基準線

24　文中の(　　)内に当てはまる数値として、正しいものはどれか。

労働安全衛生法関係法令によれば、重量表示について、一の貨物で、重量が(　　)トン以上のものを発送しようとする者は、原則として、見やすく、かつ、容易に消滅しない方法で、当該貨物にその重量を表示しなければならないと規定されている。

イ　0.1
ロ　0.4
ハ　0.7
ニ　1

25　文中の(　　)内に当てはまる数値として、正しいものはどれか。

玉掛け作業の安全に係るガイドラインによれば、2本4点半掛けつりでは、つり荷の安定が悪い(運搬時の荷の揺れ等により玉掛け用ワイヤロープの掛け位置が移動することがある)ため、つり角度は原則として(　　)° 以内とするとともに、当て物等により玉掛け用ワイヤロープがずれないような措置を講じることと規定されている。

イ　60
ロ　75
ハ　80
ニ　95